

西住小



これがイチオシ

何事にもチャレンジを

私たちの学校は、児童会目標「メリハリをつけて何事にも挑戦する西住っ子」として、「目を見てあいさつすること」に全児童で取り組んでいます。

企画・運営委員会の児童を中心に、毎週月・金曜日の朝にあいさつ運動を行い、元気なあいさつを交わして、明るく、元気な学校を目指しています。

また、週に一度、全校であいさつが良かった友だちを放送で紹介しています。紹介された友だちには、みんなで拍手を送り、あいさつの輪が全校に広がるように取り組んでいます。

学校名 柴田町立西住小学校
所在地 柴田町船岡大住町16-1
創立 1983年
電話 0224(53)3227
校長 小川 仁志
児童数 113人

山を活用 仲良く体力作り

西住小学校は、自然が豊かで、緑が美しい場所にあり、緑が美しい場所「チャレンジパーク」という山を活用した遊び場があり、みんなが仲良く遊びながら体力を高めています。頂上まで登ると、柴田町や大河原町の景色を一望することができ、とてもきれいです。春になると、校庭に咲く満開の桜の下で、1年生を迎える会を行います。縦割り班ごとに分かれて、レクリエーションをします。1年生から6年生までみんな仲が良く、温かい雰囲気があります。



編集委員 阿部乃々香 (6年)
指導教員 高橋駿介

緑が美しく豊かな自然

秋には、西住小が一年で最も盛り上がる行事「わくわくまつり」があります。地域の方々と昔遊びを教えていたり、各学年の出店を楽しんだりしています。

わが校わがまち スクール通信



次回は
大貫小 (大崎市)
北六番丁小 (仙台市)

地域の誇り 受け継ぎたい

飯野川小



これがイチオシ

心込め手作業で田植え

総合的な学習の時間で毎年、5年生がもち米作りをしています。おいしいもち米を作るために、田植えから稲刈りまで地域の方々に教えてもらいながら頑張っています。今は機械での作業が中心ですが、あえて人の手で田植えや稲刈りを行うことで、昔の人の大変さを味わいながら活動しています。

自分たちが作ったもち米をたくさんの人に食べてもらえるように販売も行っています。今は米農家が減っていることで体験して感じたこと、教わったことを次の世代に受け継ぎたいです。

学校名 石巻市立飯野川小学校
所在地 石巻市相野谷旧屋敷56
創立 1873年
電話 0225(62)3009
校長 中鉢 晶子
児童数 118人

大切な二つの伝統芸能

飯野川小学校は、飯野川第一小学校と飯野川第二小学校が統合して今の学校になりました。そのため、私たちの学校では、二つの伝統芸能を引き継いでいます。

一つ目は、地域で約300年前から受け継がれている「葛西囃子」です。5、6年生が伝承活動をしていきます。鉦、太鼓、締め太鼓、和太鼓、篠笛を使って演奏します。5年生は、6年生と保存会の方に教えてもらいながら、練習を繰り返して、地域の夏祭りや学習発表会で演奏しています。



編集委員 伊藤杏莉、生出陽輝、生出力希斗、斎藤沙希、門間聖奈 (6年)
遠藤なつ、佐藤隆太郎、佐藤右京、山内葉月 (5年)
指導教員 三浦拓、小野寺苑華

ニュースポーツ「パルクール」
目指せ 初出場で日本一
大和の教室に通う5人挑む

日本選手権に向け、パルクールの練習に励む佐藤さん(左)と安部さん=大和町のJUMP&LEAP

障害物を跳んだり登ったりして乗り越えるニュースポーツ「パルクール」の本年度の日本選手権に、大和町の教室に通う小中学生と高校生計5人が初出場する。いずれも、日本選手団のコーチを務める石沢憲哉さん(38)＝仙台市泉区＝から指導を受け、上位入賞を目指し練習に励んでいる。

日本選手権は10月11～13日、東京で開かれる。出場するのは大崎市古川二小6年伊藤心菜さん(11)、仙台市南中山中1年安部圭祐さん(12)、富谷市東陽台中1年高間春馬さん(13)、大和町宮床中3年佐藤功基さん(15)、東北学院高2年中島弘汰朗さん(17)＝大和町＝。

タイムを競うスピードラン

石沢さんはパルクールの普及活動にも力を入れる。連絡先はJUMP&LEAP O(7216) 1382。(9月18日朝刊より)

河北新報の仕事 がんばった

仙台市スチューデントシティ支局員紹介



南吉成小5年

(9月17日)



向陽台小5年

(9月18日)



岩切小5年、吉成小5年

(9月12日)



片平丁小5年

(9月16日)

「スチューデントシティ」は、仙台市内の小学5、6年生がお仕事をして給料をもらい、買い物や納税をする「小さな街」です。河北新報社は、紙面編集などの仕事を体験する支局を開設しています。